

循環型社会の実現

2014年度の目標と結果

目標

- ① 廃棄物の発生抑制、再資源、再資源化の推進
廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを堅持する。リサイクル率を前年度実績以上とする。
- ② PCB処理の推進
低濃度PCB廃棄物は最善の処理方法を検討し採用する。

結果

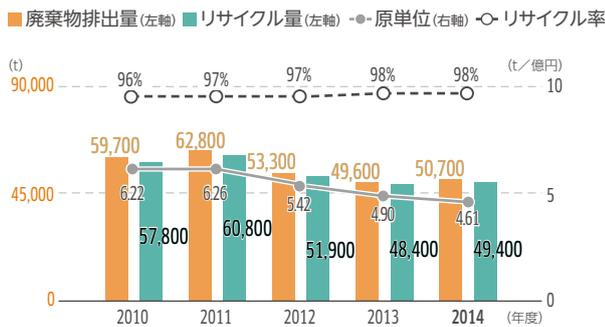
- 廃棄物総排出量は原単位で前年度実績から6%削減し、最終埋立率は1%以下とゼロエミッションを堅持した。リサイクル率は98%と前年度と同等となった。
- 低濃度PCB含有トランス等を最善の処分方法で295台処分した。

廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化の推進

資源を無駄なく利用する製品とものづくりで有限な資源を大切に活かし切り、循環させるなどし、資源を有効に利用する設計を推進し、製品の軽量化や耐久性・リサイクル性などの向上を推進しています。また、生産活動での3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)を推進し、全工場でゼロエミッションを達成しています。

2014年度の廃棄物の総排出量削減活動は、総排出量約50,700トンで操業の影響を受け増加しましたが、リサイクル率は98%と前年度と同等となり、また売上高原単位(t/億円)では、2014年度の目標原単位6.04に対し、4.61と大幅に目標を達成しました。

廃棄物排出量・原単位とリサイクル率



※原単位は廃棄物排出量を売上高で除した値です。

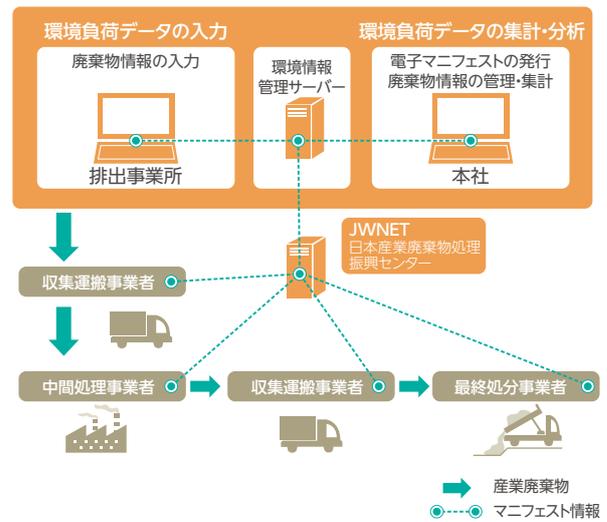
PCB処理の推進

高濃度PCB廃棄物の処理は、JESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)の処理計画に合わせ、適宜処分を遂行しています。また、低濃度PCB廃棄物の処理は、環境大臣の認定を受けた処理事業者の現地確認を行い、安全且つ適正な処理が確実にされている状況を自らの目で確認し、とうえで、委託しています。

電子マニフェストの活用

当社は、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが運営する電子マニフェストシステムに連携した社内システム(ECOKEEP)を利用して、法令順守の徹底、事務処理の効率化を進めています。2014年度は、国内の全工場で電子マニフェストを利用し、年間約6千件の手続きを電子化しています。

環境情報管理システム(ECOKEEP)



今後の取り組み

廃棄物については、今後とも原単位目標を必達するとともに、リサイクル率の更なる向上に努めます。また、PCB廃棄物については、高濃度・低濃度を問わず、2020年度末までに全廃を達成させます。